

次に、福生市道の不要個所の廃止等についてお尋ねします。

福生市道の不要個所の廃止については、担当の職員も熱心に取り組んでいることは、すでに了承しております。

現在は、近くに新しく道路ができたり、また、全く不要の市道も数多くありますので、毎年何本ずつか整理して、払い下げのできるものはしていただきたいと思います。

本年は、やはり何本ぐらい整理ができるのか伺います。また、来年度においては、どのぐらいの整理ができるのか質問をいたします。また、現在整理中のもの、もしくは手続中のものはどのくらいあるのかお伺いします。

次に、教育問題について、その後の中学の校内暴力についてお尋ねします。

六月の議会において質問がありましたが、私は、その後の非行グループがどのように反省して立ち直ったかどうか、まず

一点。

そして、二として、各中学校の中で、警察を呼ばないけれども、どんな小さな暴力事件かどのくらいあったか、なかったか、また、わかればその内容等をお伺いいたします。

三、その後、教育委員会において、特に重点とした指導や要綱はつくられたかどうかを質問いたします。

四、いたしまして、中学生の中で、母子家庭が市内でいまま何世帯ぐらいあるのか。

五、父子家庭は向世帯あるのか。

六、それから、両親が健在であって、夫婦で勤めている家庭は何世帯ぐらいあるのか。

七番として、その中で、非行の子供り出る率は、どの家庭が比較的多いかを質問いたします。

小中学校の修学旅行ですが、最近は何泊ぐらいで、どの方面が多いのか、旅行の交通費、宿泊費は、どのくらい費用

がかかって実施しているのかお伺いします。また、旅行中は、いままで事故等はなかったかどうか、それから、旅行の時期は何月ごろが多いのかお伺いいたします。

また、旅行費の補助金についてですけれども、昭和五十六年度より実施しております小中学校の修学旅行費は、当初、小学生一人当たり二千円、中学生一人当たり五千円、五十七年度は小学生一人当たり二千二百円、中学生一人当たり五千五百円、本年度においては小学生一人当たり二千三百円、中学生一人当たり五千七百円であります。ある町では、旅行費を全額出しているとも聞いております。また、五十七年度より五十八年度は、わずかに小学校で百円、中学校で二百円のアップですので、来年度は小中学校の修学旅行費は、少なくとも半分ぐらいまででできるのかどうかお伺いいたします。

次に、西口の再開発事業について、進捗状況とその後の

実施計画についてお尋ねいたします。

立川駅ビルの完成によりまして、立川市の発展は非常にすばらしいものがあります。去る六月二十二日に、都市計画審議会においても立川の駅ビルの視察に行きましたが、その中で、一日の売り上げを当初、約七十万円ぐらいと予想していたが、それより上回り、約一億円に近いとも聞かされております。さらに、立川市としては、この駅ビルを完成させて成功したというふうなお話も聞いております。また、隣の昭島駅も改造され、また、今後もしっばに整備され、駅前も開発されることも聞いております。

そこで、わが福生市の西口の再開発でお尋ねしますが、昭和五十七年九月に最終的な基本計画の報告書をいただいております。すでに、それから一年を過ぎております。また、再開発の計画が発表されてから約四年間経過しているわけでございます。

現在は、すべての準備も終わったことと思っておりますので、次に、駅ビルの設計、計画はいつごろできて、また、地元の商店の方々の承諾はいつごろ取れるのかお伺いいたします。また、工事中の飯店舗はどのようなふうにつくっていくのか御質問をいたします。

次に、市庁舎について、市庁舎の建てかえ、または増改築についてですけれども、本庁舎は、瀬古町長の時代、昭和三十一年一月三十日に落成しております。それから本年で約二十年経過しております。当時は、非常に三階建てで堂々たるリッパな庁舎でしたが、いまでは非常に狭くなりました。不便の所もあるようです。また、幾つかの課は離れており、市民にも不便をかけております。また、管理上、及び事務の能率化も悪く、むだも多いと思います。隣の昭和の寮の跡地も、増築等の考えをもって買い入れてありますので、今後市長は、今回建てかえまたは

増改築等計画があるのかどうか、また、あるとすれば、何年の計画で、いつごろできるのかお伺いいたします。

以上、よろしく御回答をお願いいたします。

(市長 田村匡雄君登壇)

○市長(田村匡雄君) 高水議員さんの御質問にお答えいたします。

福生の市道並びに私道についてでございます。第一点の市道の舗装についてでございますが、率は、昭和五十七年度末で九五、七八名となっております。

御質問の四メートル以上の道路と四メートル以下の道路の舗装状況でございますが、四メートル以上の未舗装道路は、一部未舗装を含め、十七路線でございます。そのうち舗装を要すると思われるものが十路線あります。うち二路線は、本年度中に整備いたします。

また、四メートル以下の道路では、百九十路線が未舗装

でございます。そのうち舗装可能なものが五十三路線で、うち二路線を五十八年度に整備いたします。

今後、未舗装道路の整備に対しましては、積極的に取り組んでまいります。特に、市民の方々が毎日利用される生活道路につきましては、できるだけ早く整備するよう努力してまいります。

次に、第二点の私道の舗装についてでございますが、市内の私道は、昭和五十七年度二月調査時点で、四百七十八路線あります。昭和五十七年度末の舗装済みの路線は、百二十四路線で、舗装率は三二・三％となっております。

昭和五十三年三月、福生市私道整備に関する規則が制定され、以来、私道整備補助事業を行ってまいりましたが、御指摘の補助対象の拡大、補助率のアップ等につきましては、各方面からの御要望をいただいておりますので、補助基準の改正について早急に検討いたしまして、議

会にもお諮りいたしながら、規則改正等を行い、私道の整備を行ってまいりたいと思っております。

三点目の市道不要個所の廃止促進についての御質問でございますが、現在、廃止路線の道路を申請中のものが一件、今後、廃止を予定しているものが十六カ所ございます。これらは、境界確定等種々解決しなければならない問題を合意しておりますが、今後もし引き続き整備に努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。細部については、部長から答弁をいたさせていただきます。

次に、教育問題についてでございますけれども、教育委員会から答弁を申し上げます。

次に、西口再開発事業について、西口周辺のまちづくりに対する私の考え方、基本姿勢、そしてその必要性につきまして、これまで何回か申し上げたので省略をさせていただきませんが、いずれにいたしましても、西口商業の地盤沈下現象を

そのままにしておくことは、当市全般の商業振興の上からも問題でございます。

このようなことから、市では、三、四ヘクタール内の基本計画案、一部街区の事業化案を作成し、それを一つめたたき台として、五十七年度後半から地元説明会を積極的に開いてきましたし、各街区単位、ブロック会での議論、土地所有者への呼びかけをしてまいりました。

御質問の具体的な実施計画、各階の床利用等の件でございですが、報告書の各街区整備モデル計画を基本に、イメージ図や模型、さらには、事業費等すべてにわたって説明をいたしております。しかしながら、御案内のような昨今の経済情勢、不況ムードから、なかなか盛り上がりません。「まちづくリニュース」でも取り上げているように、また高水議員さんの御指摘のとおり、立川市を初め隣の昭島市、秋川市の開発計画や大型店の出店が進むと、まさしく福生は取り残

されてまいります。

私は、これまでこうした事業の初動段階は、行政主導より民間主導で行った方がよいと言っておりますが、いつまでもそうとはかり言っておられません。幸いにも、ただいま高水議員さんから、組合施行をたてまえとした、市が自主的な行動をとっていったらどうかというようなお話がございました。御指摘のような方法で進めるべく、検討いたしていきたいと思っております。

本年度も九月が終わりますと、二分の一が過ぎてまいります。いずれにいたしましても、これから、すでに組織化されております、ブロック会、あるいは再開発協議会、さらには土地所有者、借地人等開発関係者のコンセンサスを得ることが重要であり、必要ですので、いろいろな点にわたって積極的に協議がなされますよう指導をしてまいります。そして、でき得れば年度内に一つの街区ぐらい準備組合が結成され、充足したい

と考えております。当然、各補助金の要請にも当たっていく所存でございます。

議員各位も今後ともよろしくお願いいたします。

次に、市庁舎についてでございます。

市庁舎の建てかえ及び増改築について御答弁申し上げます。

御指摘のとおり、現庁舎は昭和三十九年一月に建設されたものでございまして、すでに、十九年を経過しております。この間、人口の増加、社会情勢の変化、行財政需要の増大等が重なりまして、市の組織も拡大され、庁舎は次第に手狭となつてまいりました。そのため、現在では、市民サービス上、また事務能率上も支障を来しておりますことは事実でございます。今後、市民サービスを中心とした庁舎建設を検討してまいらねばならないと考えております。

また、そのためには、より広い用地の確保が必要であるわ

けてございしますが、昭和五十七年度におきまして、関係者に御協力をいただき、庁舎西側の昭和飛行機の寮がございしました土地を借地権を取得させていただいたことは、御承知のとおりでございます。現在、この土地は、手狭な来庁者用駐車場をより効率的に利用していくために、公用車用の駐車場として利用しておりますが、今後、庁舎建設を考えますとき、大変貴重な用地として活用できるものと考えております。さらに、庁舎北側の民地につきましても、検討していく必要があると思っております。

いずれにしても、地方自治体を取り巻く現下の厳しい社会経済情勢が、また、庁舎の冷暖房工事を五十六年度に約一億六百万円をかけて施行したばかりでありますので、こうした点を十分考えつつ、今後、内部プロジェクト等による長期的展望に立った調査研究をしてまいりたいと考えております。

答弁とさせていただきます。

○教育長（森田 猛君） それでは、私の方から、校内暴力の質問の重点の指導要綱等につきまして御説明申し上げます。なお、細部につきましては、教育次長の方から数字等挙げまして御答弁申し上げますので、よろしくお願いいたします。

五月、六月にかけましての福生中学の校内暴力等につきまして、いろいろと議会からも御指導等をいただきまして、まことにありがとうございました。われわれ教育委員人会といたしましても、その後、暴力の追放ということを取り上げておるわけでございます。

教育委員会といたしましても、昭和五十八年度の学校教育指導要覧、これを作成いたしましたしまして、全教職員に一部ずつ配布してあるわけでございます。その中にも、生活指導を取り上げまして、保護者、地域社会、近隣の学校、

関係諸機関と連携を密にして、というようなことを目標にしまして、現在進めておるわけでございます。

この七月になりました、たまたま、二十一日から夏季休業というようなことになって、八月いっぱい、いわゆる夏休みでございますが、われわれといたしましても、その間、夏休み明けのいわゆる中学生の問題行動等も一応心配されるわけでございます。その間に、学校は学校なりに、校長を中へいまして、PTA、あるいは地域の協力をいただきなから支部懇談会等を開きまして、できる限り地域と密接な連携を取って、健全育成に進んでおるわけでございます。

また、委員会といたしましても、八月の十五日に臨時校長会を開きまして、特に、校内暴力につきまして校長等に指示をいたしておるわけでございます。また、八月の二十二日の校長研修会、それから八月二十六日の教育相談員の研修会、それらも開催いたしましたしまして、特に、問題行動を起す

生徒につきましているの、言葉つきは悪いんですけれども、監視ではないんですけれども、その情報の収集に特に務めるように、というような指導を私どももいたしておるわけでございます。

なかなか、問題行動も広い範囲によって行われるわけでございます。われわれが一番心配しておりますのは、これらが、いわゆる中学生の問題行動がどう出るかということが、一応懸念されるわけでございます。

細かい数字等につきましている、次長から御答弁いたさせますのでよろしくお願いいたします。

○教育次長（八木房雄君） 自席からお許しをいただきまして、補足答弁をさせていただきます。

その後の件数でございますが、幸いに、教育長のお話のとおり、ございません。六月定例会以後、現在まで、校内暴力についてはございません。

それから、中学生の関係の母子、父子家庭、それから共働き等の状況でございますが、母子家庭におきましては、百五十四人で百三十四世帯でございます。それから、父子家庭におきましては、三十九人で三十五世帯、それから、その他の両親がございまして、おじ等に育てられているお子さんが一名で、一世帯でございます。それから、共働きと申しますか、パートも含んでおりますが、その方々は八百七十七人の生徒がおりまして、八百四世帯というふうな状況でございます。先ほどの中の、共働きの関係での非行の割合というふうなお話でございますが、一〇でございます。

それから、修学旅行等につきましてでございますが、これにつきましている、各学校によって、小学校、中学校によって違います。まず、臨海と林間がございします。

小学校別で申しますと、第一小学校は臨海学校へまいりまして、宿泊地は鵜原でございます。宿泊数が二日でございます。

して、八月三日から八月五日まで実施しております。その交通費でございいますが、一万一千二百円でございます。それから、二小が精進湖で二日、七月二十一日から七月二十三日まで、経費が一万三千八百円でございます。それから、三小は日光でございまして、宿泊が二日でございまして、これは六月の十四日から六月の十六日までで、経費については一万七千九百三十七円でございまして、それから、四小がやはり日光でございまして、宿泊が一日でございまして、六月二十九日から六月三十日まで、その経費は一万七千四百七十七円でございます。それから、五小が精進湖、二日宿泊でございまして、七月二十一日から七月二十三日で、経費が一万二千五百六十四円でございまして、それから、第六小学校が岩井海岸、これは臨海でございまして、宿泊が二日、時期が七月二十一日から七月二十三日、経費が一万二千五百六十四円でございます。それから、第七小学校が同じく岩井海岸で、宿泊が二日、七月十九日から七月

二十一日で、経費が一万五百円でございます。

それから、中学の方でございしますが、一中、二中、三中とも京都、奈良方面でございまして、宿泊数は二日でございまして、まず、一中から三中までが、十月七日から十月九日を予定しております。経費については、大体三万七千二百円程度が見込まれております。

それで、今後の考え方でございますが、いまお話のとおり、昭和五十六年から幾ばくかの補助を出すようになったわけでございしますが、これも当初、二割程度、という程度でございまして、各市、町におきましても若干出している所もありまして、先ほど御案内のとおり、全額出しているというふうな所が一町ございしますが、それは別といたしまして、なかなか財政も現在は大変になってきたので、いろいろ苦慮している所も多、ようでございしますが、私どもの方の考え方としては、当初から、運賃とか、それから宿泊数等が大幅にアップにな

ったというふうなことでございますれば、またその時点において検討するというふうな考え方を持っておりまして、現状では、その程度のことで考えさせていたきたいというふうに考えておりますので、ひとつよろしくお願いいたします。

以上、お答え申し上げます。

○建設部長（内田和雄君） 自席から市長の補足説明をさせていただきます。

初めに、市道関係でございますが、四メートル以上の舗装可能な路線でございますが、先ほど市長が申し上げました中で、あと八路線が残っているわけですが、これが約平方メートルにして、二千平方メートルくらいになります。そうしますと、平方メートル単価五百円ぐらいで約一千万円。それからあと、四メートル以下の舗装でございますが、五十一路線で約五千五百平方メートル、これが約二千七百万円くらいかかってくるんではないかと思っております。

それからあと、私道の関係ですが、四メートル以上で通り抜けできる道路が六十四本で、未舗装が三十七本ぐらいで、これが一万四千三百四十九平方メートルぐらいございまして、七千七百七十四万五千円くらいになります。それからあと、四メートル以下で通り抜けできる道路が、未舗装が二十二本ぐらいございします。これが四千二百六十四平方メートルぐらいで、二千三百三十二万六千円くらいになります。

それから、四メートル以上での行きどまりというのが、未舗装のがあと百十四本ぐらいございまして、それが二万一千百九十六平方メートルくらいになります。これが約一億五百九十八万円ぐらいということでございます。

それからあと、西口の再開発の中で、福生駅の駅ビルというお話がございましたが、なかなか駅前には駅ビルをつくらなければ面積もございませんし、いまのこの計画では、橋上駅화를図りたいということで、いまいろいろ目指しているわけござい